

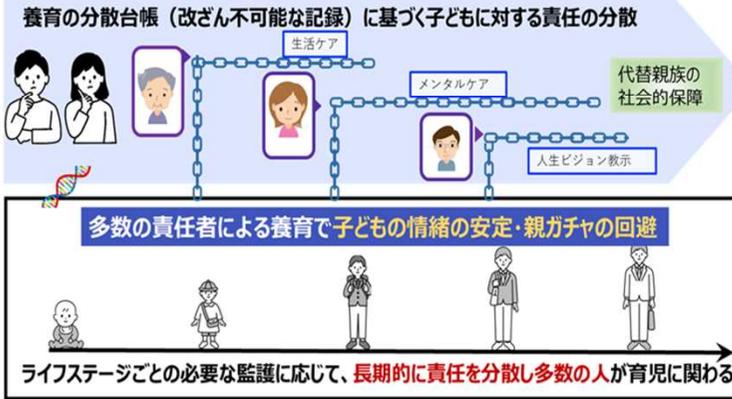
# 「Child Care Commons : わたしたちの子育てを実現する代替親族のシステム要件の構築」 (細田千尋) (2022年~2024年度) キーワード : 子育て支援、代替親族、親・子・第三者の幸福

## 1. プロジェクトのねらい

### Child Care Commons

第三者の養育への全関わりを改ざんできない記録(ブロックチェーン)として残す  
→「責任」と「やりがい」

子どもの情緒・あり方の  
**長期的な責任分散**  
=「わたしたちの育児」



子育てに第三者が責任を分散した形で関与することで、子育てにおける幸福の循環システムを実現

## 2. 研究開発プロジェクトのマイルストーン(達成目標)

- ① 既存の支援制度と共存するためCCCの要件を明確化
- ② どんな人にCCCも含めたどんな制度が最適かを判定  
・マッチングシステム
- ③ CCC運用システム要件の明確化  
・ウェブやスマホで実施可能なアプリのPoC作成  
・心理・脳科学からCCCのエビデンスを提供
- ④ CCCの社会受容性の醸成  
・多くの人に受け入れられるシステムとして醸成



## 3. プロジェクトの全体構成

### 課題1:

多様な人の親子へのかかわり方を案内するしくみをつくる



齊藤 慈子 上智大学  
総合人間科学部心理学科・准教授

既存の制度の検討

- 既存の社会と学術領域での家族観を整理  
各専門分野での家族観・議論 養育現場にいる人たちの家族観



要件の構築

- 多様な人と親子のかかわり方モデルをつくる



システム仕様の検討

- CCCマッチングシステムをつくる



家族ごとに受け入れやすいかかわり方を案内する  
マッチングシステムを構築

### 課題2:

親子への第三者の関わりを実地で確かめる



坂倉 杏介 東京都市大学  
都市生活学学科・准教授

事例からの機能要件の修正提案

- 親子への新しいかかわり方を関係者内で実際にテストし、その役割・指針・問題を整理する



事例からの機能要件の修正提案

改善提案

CCCの基本情報の提供

CCCをわかりやすく伝える  
シナリオの提供

### □ CCCの運用要件の構築

### 課題3:

CCCの運用に必要なICTシステムをつくる



渡邊 淳司 NTTコミュニケーション科学  
基礎研究所・上席特別研究員

改善提案

- ブロックチェーンを使って、CCCでのかかわりを記録・共有するシステムをデザインする
- CCCにかかわる人たちのこころのつながりを可視化する



### 課題5:

社会一般でのCCCへの理解を広める



丸谷 和史 NTTコミュニケーション科学  
基礎研究所・主幹研究幹研究員

改善提案

- CCCについての情報発信・交換の場を構築する
- 上記の場での反響からCCCについての改善案を提案する



### 課題4:

CCCの効用を認知脳科学から検証する



細田 千尋 東北大学大学院情報科学研究科・加齢医学研究所 准教授

改善提案

- CCCにかかわる人たちの心理や行動を認知脳科学から確かめる

